

# 1. 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2970400376		
法人名	有限会社 奈良ライフサポート		
事業所名	有限会社 奈良ライフサポート グループホーム ゆりかご		
	天理市樺本町1461-3		
自己評価作成日	平成28年12月28日	評価結果市町村受理日	

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/29/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2970400376-00&amp;PrefCd=29&amp;VersionCd">http://www.kaigokensaku.jp/29/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2970400376-00&amp;PrefCd=29&amp;VersionCd</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	特定非営利活動法人 Nネット
所在地	奈良市登大路町36番地 大和ビル3階
訪問調査日	平成29年2月14日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

9人でのんびりとその人らしく生活をしていただけます。少人数で行き届いた介護をします。季節の花と笑顔を絶やさない施設です。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

当ホームは、樺本駅前の古い町並みの中の一隅にある。食事は三食とも職員手作りの料理が提供され、利用者の好きな「ウナギ」を奮発するために食材の買い出しを工夫するなど正に家庭生活の延長を實踐している。管理者は職員の意見に耳を傾け、職員も長く勤めている人が多く、職場のコミュニケーションがよく取れており、利用者は「のんびり、ゆったり、その人らしく」の理念に添った介助を受け、落ち着いた日々を過ごしている。夜勤者以外に宿直員を一人配置し安心・安全の心配りが感じられるホームである。

hitomo

**・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価および外部評価結果

セル内の改行は、(Alt+Enter)です。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	のんびり、ゆったりをモットーに心がけている。	地域密着型サービスの意義をふまえ、契約書第一条の見直しを検討されており、すでにある理念にはその人らしい生活を支援すると掲げている。職員は理念に添った支援の方法をカンファレンスで話し合い実践している。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会の行事に参加、ふれあいサロン(交流会)、秋祭り、だんじり、防災訓練にも参加している。	「秋祭り」や「だんじり」、地域のふれあいサロン(瓦釜サロン)などには利用者も参加し、地区の防災訓練には職員が参加している。事業所が月に1度開催する音楽療法やボランティアによる笑いヨガやドッグセラピーなどに地域住民にも参加を呼びかけ参加を得ている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	音楽療法の時に自治会の掲示板へ回覧している。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度、運営推進会議を行い区長、民生委員、市役所、包括支援センターの方との意見交換をしている。	運営推進会議には、地区長、市担当職員、地域包括支援センター職員、民生委員等の参加を得て年6回行われているが、家族は参加していない。会議では、報告事項が多く、雑談の中で意見交換されている。職員にはミーティングや連絡帳で会議の内容を報告している。外部評価結果は家族に周知されていない。	「運営推進会議」と言う名前に硬いイメージを持っている家族が多いようなので、気軽に参加してもらえるような柔らかな副題を付けたり、議事録を送付し会議の内容を知らせたり、会議の日時を事業所の行事に合わせるなど、家族の参加を促す工夫を期待する。
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議や電話で空室の報告やグループホーム交流会参加時に意見交流している。	市担当者とは運営推進会議やふれあいサロンなどで意見交換したり、電話などでも報告や相談をしている。介護福祉課主催のグループホーム交流会に参加し意見交換をしている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関は日中施錠なし。身体上の危険に応じ話し合いをしている。	身体拘束について県が行う研修会に参加し、職員にフィードバックしている。現在ベッド柵を使用している利用者のケアの工夫を話し合い改善の方法を模索中である。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティング、勉強会で話し合い入浴、更衣時身体を確認している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	2か月に1度、運営推進会議やグループホーム交流会で意見交換している。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分に説明するよう努めている。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	出来るだけ、本人、家族の要望を聞くよう努めている。	家族の来訪時や電話連絡時に意見を聞き、ケース記録や連絡帳に記録し、職員間で共有している。圧迫骨折した利用者の家族から、病院での注意事項を聴き、ケアの方法について勉強会を実施した。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	不定期にミーティングを行い運営に反映している。	不定期ではあるが管理者の判断で会議を開いている。役員を交えての会議も開かれ、多数の参加があり、ミーティング記録や連絡帳に記録されている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	不定期に役員を交えて会議をし、職場環境について話しあう。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修を受けている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホームどうしの交流会をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の思いを察知し、要望に傾聴し関係作りに努めている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族に要望を聞きながら関係作りに努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	色々なサービスを提案しながら対応している。 (デイサービス、ドライブなど)		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物干し、たたみなどを共にし「行ってきます」「ただいま」の声かけをしている。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	その都度、家族との電話連絡を取り合い関係作りに努めている。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族、知人、親戚の方が訪ねて来られるよう支援している。	利用者のほとんどは地域の方なので、秋祭りや、だんじり、ふれあいサロンへの参加は懐かしく慰めになっている。家族の訪問は月1度位が多く、親戚、知人の訪問は少ない。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションを利用者と共に行い孤立しないよう心がけ、コミュニケーションをとる。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院中の方は様子を見に行く。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの身体能力に合わせた過ごし方が出来るよう支援している。	利用開始時に家庭訪問をし、利用者の情報や意向を聴きとっているが、定まった様式のフェイスシートがなく、職員は日々の暮らしのなかで意向を判断している。現在フェイスシートの様式の作成を検討している。	利用者の意向や希望の情報を職員間で共有できるよう、記録方法や内容を充実させたフェイスシート作成を早急に取り組むことを期待する。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族からの情報等により生活歴や生活環境等の把握に努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日一人ひとりの心身の状況を把握しその日の心身状態に合わせた過ごし方ができるよう支援している。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人のニーズを重視し家族からの意見を聞き、介護計画作成者を中心に介護職員全員で介護計画を作成している。	職員間で話し合いケアマネジャーが意見をまとめて介護計画書を作成している。家族には来訪時に説明をしている。ADLや病気が中心の介護計画になっており、ニーズや目標の焦点が解りにくい。	フェイスシートを充実させ、ケース記録、申し送り帳などを基に利用者が好きなことややりたいことも取り入れた生活の見える介護計画が望まれる。モニタリングの時期を定め、職員と共に評価をして、次の介護計画に反映させる取り組みを期待する。
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアをケース記録に個別に記録し、職員間で気付いた点等を申し送りし、反省点、工夫する点を話し合っ介護に活かすよう努めている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	寝たきり状態の方も昼間は離床していただき他の方とのコミュニケーションに参加していただく事によりよくそう予防にも気をつけている。昼寝の時間を設けたり柔軟に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	毎月地域のふれあいサロンがありドクターの話しや色々専門分野の方の話しがあり参加している。又、お祭りや地域の行事等にも参加している。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的に主治医の検診があり、緊急時にも対応していただいている。	月に2回協力医の往診があり、歯科、皮膚科、眼科は希望に応じて往診してもらえ。かかりつけ医を事業所の協力医に変える方が多く、通院は職員が同行し、異変がある時には家族に報告している。これまでのかかりつけ医に家族同行で定期的に通院される方が1名おられる。週1回の訪問看護、非常勤の看護師が連携して利用者の体調管理を行っている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護と非常勤の看護職員を配置し、相談しながら支援している。心配なときは主治医とも相談している。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関、家族、事業所で連携している。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族、知人、親戚の方が訪ねて来られるよう支援している。	終末期の対応については利用開始時に本人、家族の意向を伺っている。看取りケアが必要な時期に入ると協力医から家族に説明をし、医師、看護師、職員の連携体制を取りケアを行う。また常時夜勤者1名と宿直者1名の2名を配置し、看取りのケアにも対応できる体制を取っている。ターミナルの指針や意向伺い書を作成しているが、今年看取った方はいない。職員への看取りに関する研修はDVDの映像などを用いている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	不定期で消防署、セコム等でAEDの講習を受けている。(平成28年10月11日セコムよりAEDの講習あり)		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	警察、消防署、セコム等にも対応を依頼している。大雨で川が氾濫しそうな時地域の代表者にも気をつけていただいている。	防災マニュアルを整備し、年に2回利用者も交え避難訓練を行っているが、夜間想定訓練はされていない。災害時の地域住民の協力を運営推進会議で依頼しているが、十分な話し合いには至っていない。地域の避難訓練には職員が参加している。スプリンクラー、緊急通報装置、セコムへの通報装置などが設置されている。車で5分位のところに消防署があり非常時に早い対応が期待できる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重した声かけをしている。	「トイレに行きましようか」と書かれた団扇をさりげなく見せて、トイレ誘導するユニークな対応をしている。言葉使いについての勉強会を行い、一人ひとりにあった言葉掛けに注意している。書類は対面式キッチンの流し台上部の棚に保管している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いを家族等に連絡し実現できるよう努力している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り希望に添うようにしている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に美容師による整髪や季節にあった服装で身綺麗にさせていただいている。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブル拭きやお盆配置等出来る方にしていただき、食事は身体状況に合わせて作り、季節に応じた食材で季節感を楽しんでいただいている。	朝食、昼食は皆でメニューを決め職員が手作りし、夕食は法人内他部署から専属の調理職員が来て手作りしている。味付けが良く色合い、見た目にも美味しそうだと評判が良い。誕生日にはケーキを用意し、たまには利用者の好きな「うなぎ」が提供できるように、食材の買い出しに知恵を絞っている。利用者の重度化もあり準備や片付けが出来る方は現在はなく、外食も実施されていない。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの身体に応じた食事量や栄養のバランスを考え水分量も一日1000ミリを目安に摂取できるよう配慮している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨きやうがいを励行している。義歯は就寝前にポリドントにつけて洗浄している。歯ブラシやコップは一日1回洗浄し日光消毒や殺菌庫に入れて消毒している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの時間を把握し声かけとトイレ誘導、介助を行っている。	夜間オムツ使用者が1名、昼夜とも布パンツ対応の方が2名で、他の方はハビリパンツで対応している。利用者ごとの排泄記録より排泄パターンを把握し、適切なトイレ誘導を行っている。個々の排泄パターンを把握しやすくするために排泄チェック表を見直し改善した。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事、おやつに野菜、くだものを多く使用し日中はハビリ体操、散歩をしている。3日以上便秘は主治医と相談する。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週に3日(月水金曜日)午前、午後に入浴で一人ひとりの希望に添いながら、のんびり、ゆったり入浴できるよう支援している。	週3回、午前と午後に入浴時間を取り、出来るだけ希望に添えるように対応している。足腰が弱い方が多く、浴槽が洋式の横長なので職員2人で対応している。用具なども工夫しているが介助が難しくなってきたり、常に苦慮している。	利用者がゆっくり湯船につかり気持ちよく入浴でき、職員も身体に負担がかからない入浴方法があるかを、理学療法士などに現状にあった専門的なアドバイスを求めているかどうか。
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その人の生活習慣希望に応じて対応している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	特に新しい処方薬は服用後の身体状況や皮膚お変化の確認に努めている。日々服用の薬にも症状の変化に注意している。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々にあった役割を設け生活感を感じられるようにしている。(洗濯たたみ、カレンダー交換など)		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人、家族の希望によりドライブや外出する。地域の行事にも参加している。	3ヶ月に1度、デイサービスの車を使いドライブに出かけている。季節にもよるが天気の良い日には近隣を散歩している。地域の祭りやふれあいサロンへ出かけているが参加者は少ない。外出支援の記録が読み取りにくいので、ケース記録に外出の可否、頻度などを記入できる欄を設けるなどの工夫されてはどうか。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人、家族が希望される時は家族と一緒に買い物に出かけられるよう支援している。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望がある時は支援している。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	快適に過ごせるよう温度、湿度を管理している。玄関や壁には季節毎に飾り物をし玄関先には季節の花を植えている。	対面式のキッチンは調理しながら利用者の見守りがしやすく、テーブルは利用者に合わせて高さを調節している。手摺も高いのと低いのを2段階につけて使い易くしている。3ヶ所のトイレも介助しやすい広さがあり、可動式の手摺を付けている。玄関や廊下は手作りの作品が飾られ、温かい雰囲気が感じられる。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	孤立しないように配慮しできるだけ本人の希望に応じるようにしている。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が使い慣れた家具や道具を持ち込み落ち着くような空間づくりをしている。	居室は手作りの表札と顔写真で自分の部屋がわかるようになっている。クローゼットが設置されており、タンスやテレビを持ち込み、写真、カレンダーが壁に飾られ、ニッチには時計や小さな鏡などを置いて独自の部屋作りがされている。ポータブルトイレや車椅子が置かれている部屋もある。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、居間、トイレ、浴室には手摺を設置し、各部屋には写真と名前が張ってある。		